



K.UNO NEWS LETTER

Vol.27



ケイウノは全国に店舗展開するジュエリーのオーダーメイドブランドです。
この広報通信では、毎月1回、ケイウノのジュエリーやオーダーメイドに関する
さまざまなヒト・コト・モノの情報をお届けします。



中村 祐輝 東日本係2班 クラフト

山梨県出身。ヒコ・みづのジュエリーカレッジ卒業後、2012年新卒で入社。クラフトマンの経験を積み、新宿西口オーダーメイドサロンや横浜元町店を経て、現在は新宿東口店で店舗職人として活躍中

店舗に常駐する職人としてお客様一人ひとりに
技術と真心で向き合いたいと思っています

北は札幌から南は沖縄まで、ケイウノは全国に店舗を展開しており、そのほとんどの店舗に工房が併設されています。工房には「店舗職人」と呼ばれるクラフトマンが常駐。ジュエリー提案時のアドバイスから修理まで、お客様のいろいろなご要望にお応えしているのですが、実はこうした体制は業界でも稀なこと。これはオ

ダーメイドで培われた高い技術を持ち、約150名のクラフトマンを有するケイウノだからこそ実現できていると自負しています。
今回は、アフターサービスの対応件数が関東エリアで最も多いとされる、新宿東口店で活躍する店舗職人、中村祐輝さんにお話をうかがいました。

JR新宿駅から徒歩3分。 アルタの隣にある店舗

— 新宿東口店は、関東エリアで最もアフターサービスの対応件数が多い店舗とうかがいました。

中村：JR新宿駅から徒歩という立地条件もあつて、ご来店くださるお客様も多く、アフターサービスのご依頼もたくさんいただいています。

ケイウノでは、お作りいただいたジュエリーを、大切な宝物として永く良い状態で身につけていただきたいという思いから、新品同様に磨き直すリフレッシュ仕上げやサイズ直しなどの永久無料保証サービスをお約束しています。期間も回数も制限はなく、いつでも何度でも対応させていただきます。そうしたお直しが、平均すると1日に約15本ほどあり、今年3月の祝日には40本という日もありました。

— 40本！ 一人で担当されたんですか。

中村：現在、新宿東口店の店舗職人は自分だけなので、すべて対応しました。ジュエリーの状態によりますが

簡単な修理だと10分〜15分程度、長いと1時間くらいでしょうか。店舗の最上階（5階）に工房があるんですが、エレベーターがないので、その日は朝11時から夜8時までの営業時間中、対応しては下りたり上りたりの日でした。

― 修理は他社で購入したジュエリーでもお願いできるのでしょうか。また、その際の手続きは？

中村：他社のジュエリーも承っています。他店で断られたような修理にも対応させていただいているので、お気軽にお持ちください。

できれば事前にご予約いただくと、お待たせする時間も少なくなりますが、近くまでいらしたという場合など、予約なしでも大丈夫。即日対応できる内容の場合は、店舗内でお待ちいただくこともできますし、外で用事を済ませて帰りにピックアップ、ということも可能です。修理の料金は、サイトに目安を掲載しているので参考にさせていただければと思います。



永久無料保証サービスのサイズ直しとリフレッシュ仕上げ



新宿東口店の入り口。サーモンピンクの外観と黄色のドアが目印

ジュエリーの道を決定づけた おばあさまの涙

― 中村さんがジュエリーの職人を目指されたのはいつ頃ですか。

中村：僕は山梨県出身で、実家が宝飾事業を営んでいます。小さい頃から工房に遊びに行って楽しかったという経験はあったものの、中学、高校とキックボクシングに夢中で、将来的にはプロになりたいと思っていました。

そんな思いを抱きつつ、高校卒業後の進路について親に相談したら、キックボクシングを続けながらいいから、貴金属の勉強もしてみてはと。両方を経験して最終的に自分で考えろと言われ、ヒコ・みづのジュエリーカレッジのハイジュエリーコースに入学しました。当初はキックボクシングもジュエリーも、という感じでした。



職人の加工機と工具の数々

― 現在に至る転機はどこだったのでしょうか。

中村：入学して2年目のことでした。金属を使ってジュエリーを製作するという課題が出た時、僕はごいおばあちゃん子だったので祖母にリングを作ることにしました。できあがるまで内緒にたくて、母の協力の元、密かにリングのサイズを測ってもらったりして。

祖母の好きなブルートパーズをあしらったリングを完成させて、山梨に帰って渡した途端、祖母が号泣してしまつて…。それを見て、自分自身もすごく感動したんです。自分のつくったものであんなにも人に喜んでもらえるのかと。あの時の感動は今でも忘れられません。



取材中の中村さん。ユニフォームであるエプロンを着用

― それでジュエリーの道に進まれて、ケイ・ウノに入社された。

中村：本当に決定的なできごとでした。以来、課題への取り組み方も変わりました。それまでは何となくこなしていたのが、俄然貪欲になって課題のための練習にも積極的に取り組みようになりました。

そして、いざ就職という時、先生からもらった大量の会社資料に目を通して出て出会ったのがケイ・ウノの理念でした。「お客様に特別な感動と喜びを贈り続ける」という、その理念は、僕が祖母にリングをプレゼントして喜んでもらった時の気持ちそのもの。もう、絶対ここにしようと思って決めました。運命的なものを感じましたね。

― 入社されてからのお仕事は。

中村：自由が丘店で研修を受けた後、5〜6年ひたすらクラフトマンとしての腕を磨きました。その後、店舗職人として配属されていくつかの店舗を担当し、約1年前に新宿東口店の配属になり、現在に至ります。

店舗職人として経験した さまざまなお客様との出会い

― 「店舗職人」のお仕事について聞かせてください。

中村：ジュエリーには、美しさと同時に強度も必要とされます。ケイ・ウノのデザイナーはそれを十分理解してデザインを起しますが、僕たち店舗職人がいることで、より具体的なアドバイスをすることができまます。

また、リフォーム相談をいただいている宝石の状態を確認させていただく時に、目の前で作業を望まれる方もいるのですが、そういう時でも、僕たちがいれば可能です。これも店舗職人がいることの強みだと思います。



スタッフが迎え入れる店舗1階。ジュエリーに関するご相談を承る



柔らかな笑顔で一つひとつの質問に丁寧に回答。優しい口調も魅力的

こうした技術的なサポートに加えて、接客も店舗職人の仕事です。最初は不安もありましたが、おかげさまでお客様にも恵まれて、だんだん話せるようになりました。

― たくさんのお客様と出会われて。

中村：初めて接客させていただいたのは、お客様が手作りリングを製作する(DIY)サポートでした。きつと拙い接客だったと思うんですが、「中村さんが担当でよかった」と言ってくださって。最初のお客様があの方で本当によかったと感謝しています。

日本語が一切わからないという海外のカップルのDIYを担当したこともありました。金属の棒を丸めてリングの形状にし、磨いていくという工程だったんですが、僕は英語が全然しゃべれなくて、金属を溶かす時には「melt」、サイズを確認する時は「small? big?」と単語を並べて。

あとは図説したり、身振り手振りですべて使ってコミュニケーションを取っていたんですが、なんだか通じ合うものがあつてすごく楽しくて、できあがった時にはすごく喜んでもらい、2人にハグしていただきました。

— ほかにも、印象に残っているお客様はありますか。

中村：先月のことです。おばあさまから受け継がれたリングを磨いてほしいというご依頼があったんです。かなり年代を重ねて傷ついていた、変色している部分もありましたが、持てる技術を駆使してピカピカに。

僕は、仕上がったジュエリーはできる限り直接お客様にお渡しするようにしているんですが、「お待ちせしました」とリングを差し出したら、お客様が黙り込んでしまわれたんです。何かまずいことでもあったかとちょっと心配になった時、「ここまできれいになるとは思っていなかった。本当にうれしいです」と泣きながら喜んでくださって。あ、ごめんなさい。今でも思い出すと泣きそうになります。(と言いながら、涙目に…)

正直言うと、毎日すごく忙しくて、1日に何十本もの修理をしていると目の前の業務に対応することに精一杯になることもあります。でも、そのお客様の涙を見た時に、預けていただいているジュエリーは、お客様にとって特別で大切な1本なんだということを、改めて実感しました。店舗職人ならではの貴重な経験です。

お客様が相談しやすい クラフトマンを目指して

— 店舗職人としての抱負を聞かせてください。

中村：お客様がいらした時、「中村さんいますか？」と気軽に声をかけていただけるといいなと思います。相談しやすいクラフトマンになりたいことが一番でしょうか。同時に、お客様により良いものを届けるために、加工技術の向上を常に心がけていますので、このクラフトマンになら安心して任せることができると思ってもらえるようになります。

— 最後にお客様へのメッセージをお願いします。

中村：ジュエリーショップは敷居が高いと感じる方も多いと思います。最初の1歩が踏み出せないというか…。

でも、ケイ・ウノではジュエリーを新しく購入するだけでなく、今持っているものを磨いたり、リフォームしたりといったことも可能です。ジュエリーに関して「こんな風にできたらいいな」と思っていらいっしょ

ることがあれば、ぜひお話しを伺わせていただきたいと思います。ちょっと遊びに行くような感覚でお店にいらしていただけると嬉しいですよ。心よりお待ちしております。

— 楽しいお話をありがとうございました。今後の活躍を期待しています！



加工に入ると表情が一変。クラフトマンとしてのまなざしが鋭い

5月の誕生石「エメラルド」

サンスクリット語の「緑の石」を語源に持つエメラルド。見る者を魅了して止まない、その深い輝きは愛や幸せをもたらすとされています。

写真は、ジュエリー好きなお父様から受け継がれた複数の宝石を用いたリング。アンティークなデザインと、中央に配された大ぶりのエメラルドがクラシカルな雰囲気を醸し出します。

